

根岸森林公園・新たな桜の名所づくりに向けて



1. サクラの現状と課題

- 【現状】 ○平成21年頃から台風によるサクラの倒木が報告されており、平成26年になってから健全と思われたサクラが2本突然倒れた。
○根岸森林公園のサクラの90%はソメイヨシノであり、他の品種のサクラに比べ短命で弱い。
○また、サクラ山は、木が混み過ぎ、過湿、踏圧により生育環境が悪い。



- 【原因】 ○原因は、腐朽菌による根腐れや幹腐れであった。見た目は健全なサクラであるが、上部の葉が茂り、枝も太くなっていたため樹木自身を支えきれなくなり倒れたと考える。



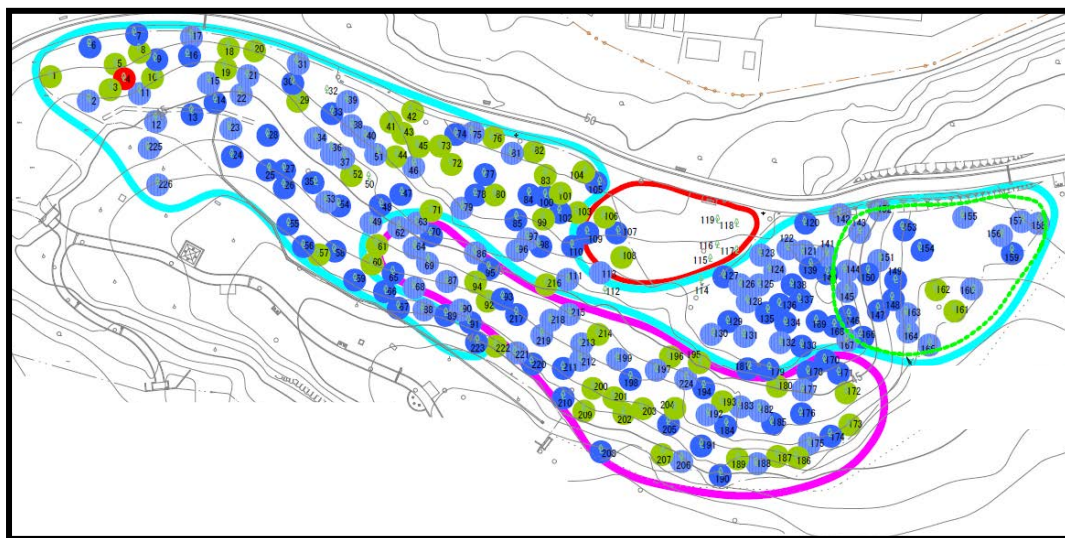
- 【課題】 ○突然サクラの木が倒れる → 人的被害の危険性が高い(安全・安心の揺らぎ)
○サクラ山の衰退(景観劣化) → 公園の魅力低下

- 【対策】 ○安全性の確保 → サクラ山の樹木診断
○公園の魅力アップ → 更新計画の策定

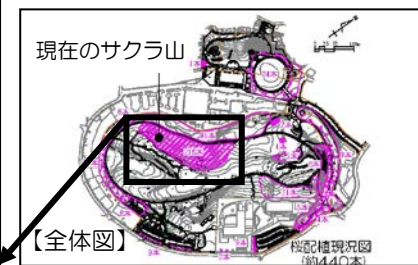


2. サクラ山の樹木診断結果と今後の管理について

診断結果



- 【凡例】(健全度)
●A (50本) 通常処置は特に必要なし
●B1 (80本) 注意すべき被害があり観察、処置が必要
●B2 (86本) 適切な処置あるいは撤去
●C (1本) 撤去

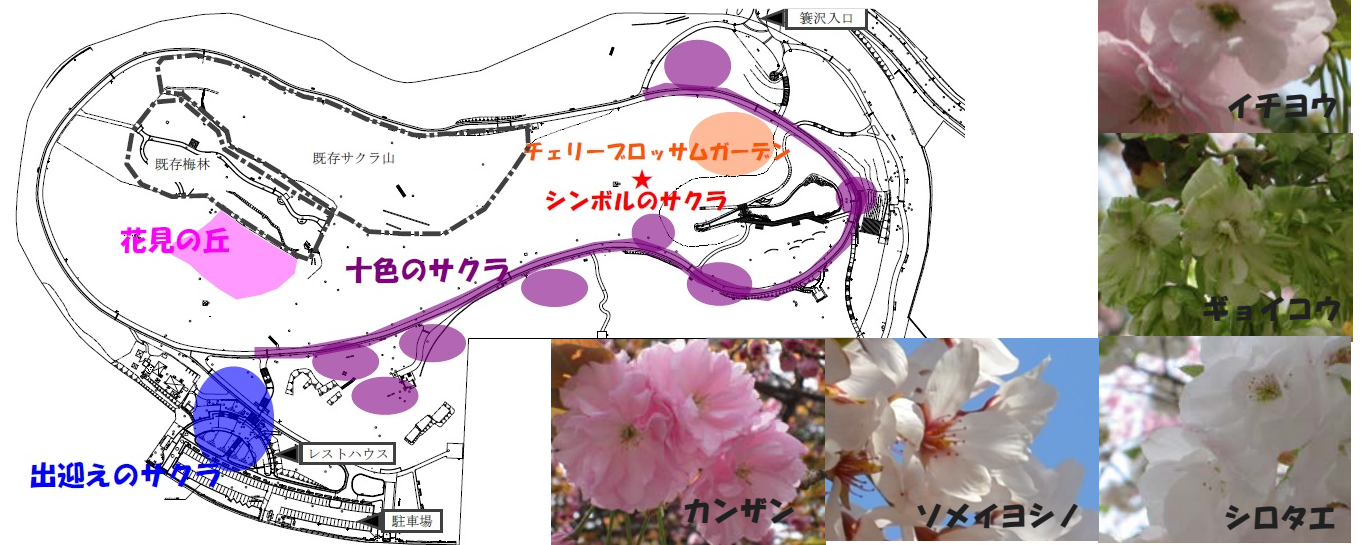


今後の管理方法(おおよそ10年を目途)

- エリアⅠ 景観優先エリア** 新しいサクラ山が充実するまで景観を保てるように管理する。
エリアⅡ 安全優先エリア 樹木診断結果を元に順次に伐採し芝生広場等に転換する。
エリアⅢ ハンブルグのサクラの女王エリア ハンブルグのサクラの女王を活かした広場空間とする。
(※1976年にハンブルグのサクラの女王により記念植樹された)

3. 更新計画の概要について

5つのテーマで園内にサクラの見所を創出し、花期の異なる様々種類のサクラを長い期間楽しめるサクラの名所づくりを目指した。



テーマ	見どころ	品種(予定)	花期	
			3月	4月
花見の丘	集団で魅せるサクラ	ソメイヨシノ・ジンダイアケボノ	—	—
出迎いのサクラ	花咲きのサクラでエントランスを彩る	ヨコハマヒザクラ・オカメザクラ・オオカンザクラ	—	—
十色のサクラ	多様なサクラによる新たな魅力づくり	ヤマザクラ・アリアケ・オオシマザクラ・カンザン・ギョイコウ・シラユキ・スルガダイニオイ・フゲンソウ・フクロクジュ・ヨウキヒ等	—	—
チェリーブロッサムガーデン	花に囲まれたピクニックガーデン	イチヨウ・シロタエ・ミクルマガエシ・アーコレード	—	—
シンボルのサクラ	人気投票で決まったシンボルのサクラ	エドヒガン	—	—

4. シンボルのサクラの決定について

芝生広場の中央に植えるシンボルのサクラについて、3品種(エドヒガン・シダレザクラ・ヤマザクラ)の中から現地及びメール等で受け付ける人気投票を行った結果、エドヒガンに決定しました。

- 調査期間 平成28年12月1日~12月25日
投票総数 262票
投票内訳
エドヒガン …136票
シダレザクラ … 86票
ヤマザクラ … 40票



写真提供 日本花の会
※写真のサクラは同品種のイメージで、実際には樹高約4m位のサクラを植える予定です。

5. スケジュールについて

- 平成28年度 11月26日 桜山更新計画説明会
12月1日~25日 シンボルのサクラ人気投票
3月 更新計画の公表(シンボルのサクラの決定)
平成29年度 4月~9月 植栽工事
5月20日(予定) 更新計画スタート記念イベント

